



瀬戸の風



医療法人社団清和会 笠岡第一病院
〒714-0043 岡山県笠岡市横島1945
TEL(0865)67-0211 FAX(0865)67-3131

特集 がん治療とチーム医療



多職種によるがんチームミーティングの様子（詳細は特集記事2～4ページをご覧ください）

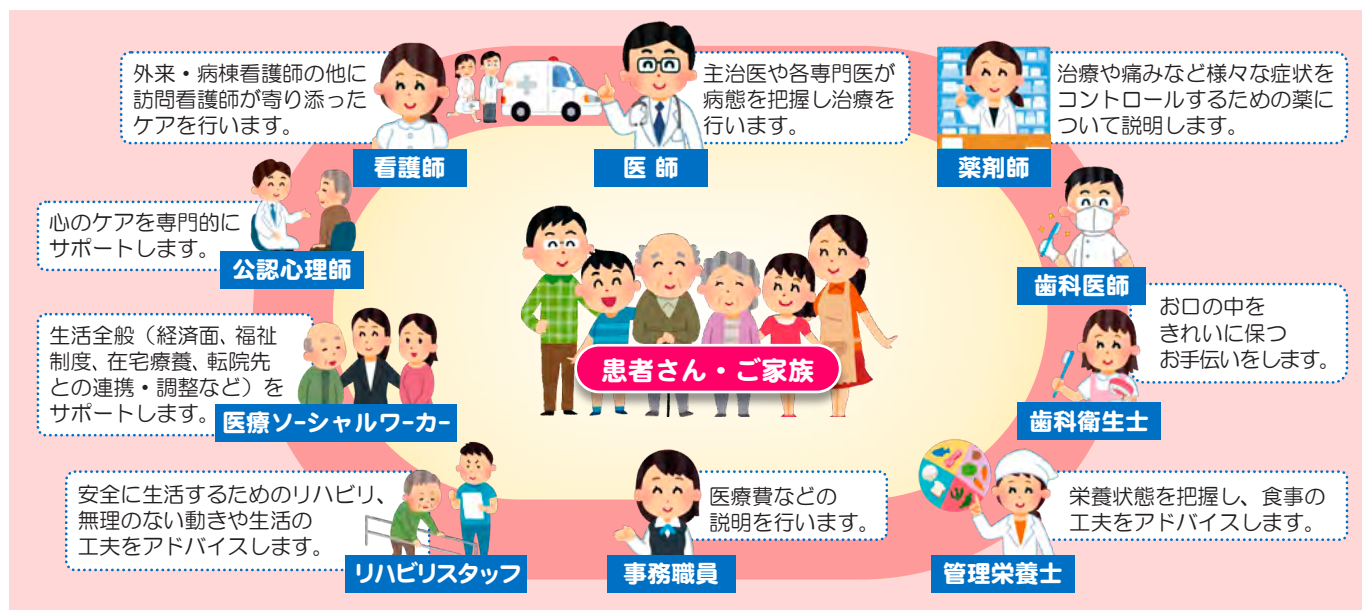
*** もくじ ***

特集：がん治療とチーム医療	2～4ページ
皆様の声 患者アンケート集計結果報告①	5ページ
新任医師紹介・新任診療部長ご挨拶	6・7ページ
辞令交付式 新入職員紹介・ 業務推進発表大会	8ページ
永年勤続表彰・ICLSコース開催	9ページ
病院機能評価 受審更新・ 管理栄養士の健康レシピ	10ページ
健康教室開催予定・ マイナンバーカード利用のお願い	11ページ

基本理念

1. 「豊かな健康」それが私たちの願いです。
2. 全人的視野に立ち、質の高い医療に取り組んでいきます。
3. 安全で適切な医療を提供します。
4. 明日を担う子供達の「子育て支援」から、充実した「高齢者福祉」まで見つめます。
5. 生活習慣の改善・疾病の予防を提案し健康で明るい家庭作りに役立ちます。

私たちが生活する現代社会では、2人に1人が生涯でがんに罹患すると言われています。通院されている方、入院されている方のなかにも、がん治療に取り組んでいる方々がおられます。今回は当院の取り組みをご紹介します。



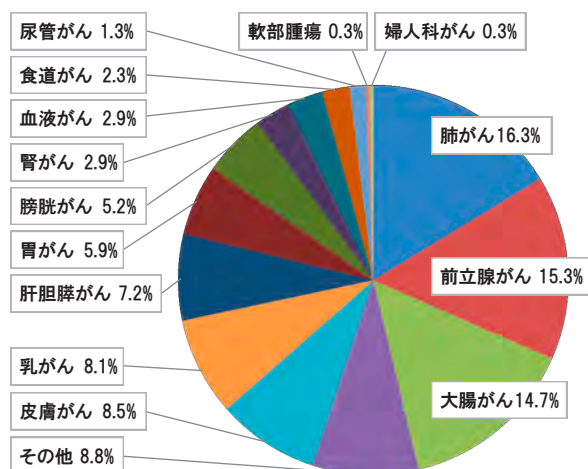
当院では 看護師、理学療法士、薬剤師、社会福祉士など、さまざまな専門職がチームを組み、患者さん一人ひとりに合わせた支援を行っています。がんとの闘病は決して一人だけの戦いではなく、家族と同じような温かい支えが、どの治療段階においても重要です。当院の検査は患者さんの負担を軽減するために、麻酔を使用した内視鏡検査や大腸CT、MRI（痛くない乳がん検診、全身MR検診）などを積極的に実施しています。また、AI技術を活用したレントゲン検査も導入し、より高精度で迅速な診断を提供しています。

2023年度に当院を受診された方のうち、症状のない方を含め年間**300名**が新たにがんと診断され、多くの方が手術や薬物療法、緩和治療を受けられました。

当院におけるがん手術は、呼吸器、消化器、泌尿器、形成外科、乳腺など幅広い分野にわたり、年間で**110名**の患者さんが手術を受けています。さらに年間約**20名**の方ががん薬物療法（内服抗がん剤のみを除く）に取り組み、痛みの軽減など緩和治療を受ける方は毎年約**60名**に及びます。

今回広報誌を通じて、これら多職種による支援を「がんチーム医療」として紹介します。地域の皆様が健康で安心して過ごせるよう、引き続きサポートを提供してまいります。

表 2023年度 当院で新たにがんと診断された方(300名)



看護部

外来看護師 矢吹 沙織

抗がん剤イコール、身体への負担が強いイメージをお持ちの方がおられるかもしれませんが、最近の薬剤は副作用が現れにくく、効果のある制吐剤もあるため、ほとんどの方が外来通院で化学療法を行っています。4月の時点で13名が外来通院されており、外来では化学療法に携わる看護師は8名います。主治医とスタッフが情報共有し、確実な抗がん剤投与はもちろん、副作用で困っていないか確認をとりながら、自宅生活や患者のニーズをサポートできるよう努めています。

また抗がん剤投与時の輸液曝露予防として閉鎖式輸液セットを採用し、曝露対策にも努めています。

形成外来では河村医師によるリンパ浮腫治療も行っています。患肢を計測し、ソックスや包帯などの適切な着圧用具を提案しています。リハビリテーション科とも協働し、なるべくむくみによる苦痛が軽減できるよう取り組んでいます。



■ 薬剤管理科

【薬物療法】 薬剤師 坪井 里奈

「副作用が辛い」「ずっと入院しなくちゃいけない」がん治療に対してこのようなイメージが強いのではないのでしょうか。近年では外来通院を行うのが一般的で、飲み薬を服用したり、午前中に点滴をして帰宅する方がほとんどです。

当院でも呼吸器、消化器、泌尿器、乳がんとさまざまながん種の治療を行っており、毎月10名以上の方が外来で抗がん剤の点滴をされています。治療開始前には薬剤師が投与の計画（レジメン）、主な副作用について説明をしています。また、吐気など予防する点滴など（支持療法）を行い、可能な限り副作用を軽減し治療を継続できるよう努めております。



【緩和ケア】 薬剤師 大島 渉

緩和ケアとして週に1度、多職種で集まり緩和ケアカンファレンスを開催しています。

緩和ケアという絶対と言える治療の正解を示すのが難しい中、患者さん本人や家族の希望を聞きながらどういった治療が適切なのか、個々の患者さんに合わせ、少しでも最善といえる治療に近づける為に、各々の専門知識を駆使して活発な意見交換を行っています。

薬剤師としては、主にオピオイド鎮痛薬の適正使用、適切な用法・用量の提案を通して、患者さんの苦痛を取り除けるよう緩和ケアカンファレンスの一員として治療の一助となれるように関わっています。



■ リハビリテーション科 理学療法士 倉繁 恵介

筋萎縮・筋力低下、身体機能の低下を防止するためには運動によるリハビリテーションが有効です。

運動によるリハビリテーションは治療中から開始するとより効果が高いと言われています。運動をすることによって身体機能が高まるため、動いてもエネルギーをそれほど使用しなくなり疲れにくくなります。また、運動することで精神的苦痛も軽減されすっきりとした気分となることが期待できます。運動の種類としては、有酸素運動と筋力トレーニング、ストレッチを行うことが理想的です。

症状緩和を中心とした緩和期では、痛みによって活動の制限を来すことがあります。

緩和期では、痛みの緩和を図るために関節のストレッチやリラクゼーションを行っていきます。外出や外泊を希望する場合は、身体機能の状態や自宅の環境を評価し日常生活に必要な動作を維持・向上するためのアドバイスを行います。

また、必要に応じて自宅の環境調整を行います。



■ 栄養管理科 管理栄養士 山成 裕子

がんの治療中は、抗がん剤や放射線による身体への負担に加え、食事に影響する副作用が生じやすく、食事量が減ってしまうことがあります。本来楽しみであるべき食事が苦痛になるのはとてもつらいことです。

エネルギーやタンパク質を十分にとることができないと体重が減るだけではなく、免疫機能の低下にもつながります。免疫機能を維持し、がん治療の効果を高めるためにも、体重や筋肉を維持することが大切です。

当院では、医師からの依頼を元に、外来での栄養指導で個々の患者さんの状態や生活環境にあった食事内容のご提案をしています。時にはご家族も交えて、お悩みをうかがい、少しでも患者さんやご家族の負担が軽減されるよう心がけています。

入院中には管理栄養士がベッドサイドにうかがい、患者さんの嗜好に合わせた食事内容や補助食品を提案し、栄養状態が維持・改善できるようサポートさせていただきます。



■ 公認心理師 福永 実加

チーム医療における公認心理師の役割の一つは、『患者さんの希望や思いを聴き取り、それらを他職種に伝え、治療やケアの方針に反映させること。』です。患者さんの意見なくして、より良い治療やケアを行うことはできません。しかし、診察などの限られた時間で誰もが自分の思いを的確に表現できるわけではありません。迷いや不安もあり、思いの丈を伝えられないまま、診察が終わってしまうこともあるかと思います。公認心理師は、患者さんのお話をゆっくりと聴くことが可能ですので、医療職が患者さんの思いをしっかりと受け止めるお手伝いができるのではないかと考えます。さらに、『患者さんの話を聴く中で、気持ちの整理を手助けすること。』も公認心理師の役割ではないかと考えます。



病を抱えて生きるということは、簡単なことではありません。悩みや苦しみを伴うことも多くあります。患者さんのお話を聴く中で、そのような道のりを共に支えるお手伝い出来れば嬉しく思います。また、患者さんを支えるご家族に対しても同様の関わりを行っています。ご希望のある方は主治医までお声かけ下さい。

■ 歯科 歯科医師 坂本 隼一

抗がん剤、放射線治療によるがん治療では、口腔粘膜炎、歯周病やむし歯からの感染症、口腔乾燥、口腔カンジダ症やヘルペスなどの口腔粘膜の感染症など様々な口腔合併症が生じることがあります。これらの口腔合併症が、がん治療中断の原因となることもあるため、治療の前から口腔内の環境を整え、口腔合併症が生じないようあるいは生じても重症化しないように口腔管理を行う事が重要です。

当院では歯科もがんチームの一員として、闘病中のがん患者さんの口腔の痛みや口腔不快感の除去、そしてしっかり食べられるお口を守るためのサポートを行っています。



■ 訪問看護 看護師 田中 麻美

訪問看護では、がん患者さんが人生を自分らしく生き生きと暮らしていく為の支援を行っています。

当たり前の日常を過ごせるよう安全で穏やかに、可能な限り自立した状態を保てるよう尊厳への配慮を行いながら入浴や排泄など日常のささやかな願いを叶えることを大切にしています。ご本人とご家族にとって、やりたいことや大切にしたいことなど多職種でサポートすることで希望を支え、ご本人の病状変化を受け止める中で、ご家族が抱える不安や戸惑いが少しでも安心に繋がるよう関わり支援しています。また、少し先の状況を予測し、急激な症状にも迅速に対応できるよう主治医と連携を図ることで療養生活を支える大きな役割を担っています。

■ 医療ソーシャルワーカー 金本 法夫

がんの治療を続けたい、他院への転院の希望、当院での看取りなど、それぞれの患者さん、ご家族に意向があります。

がんの治療を希望される方には、訪問看護などの在宅サービスを導入し安心して治療を受けることができるよう環境の整備、他院への転院を希望される方には希望する病院への転院の調整、自宅への退院が難しい場合は外出、外泊といった一時的な自宅への帰宅ができるよう、介護タクシーなどの手配も行っています。

このように他職種、関係機関と連携し患者さん、ご家族の意向に沿った環境を整えることを医療ソーシャルワーカーが行っています。

■ 医事課 医療事務 星野 有加

高額な医療費の自己負担が必要となった際各医療機関で1ヶ月に支払う医療費を、年齢や所得に応じて一定額以下にとどめることができる「高額療養費制度」があります。

制度の利用についてはマイナンバーカードによる認証や、患者本人同意のもと病院にてオンライン資格確認システムによる限度額適用区分の確認、又はあらかじめ取得されていた限度額適用認定証を受付窓口およびナースステーションにご提示いただくことで、利用可能となります。希望される方はぜひ各窓口へお申し出ください。

各医療機関における通常の1ヶ月の総窓口負担額(高額な窓口自己負担)

高額療養費制度を利用した場合の総窓口負担額

高額療養費制度利用の場合、限度額を超えた金額は負担免除

負担限度額

※限度額は年齢・所得に応じて変わります

第12回 皆様の声 患者アンケート集計結果報告 1

サービス向上委員会

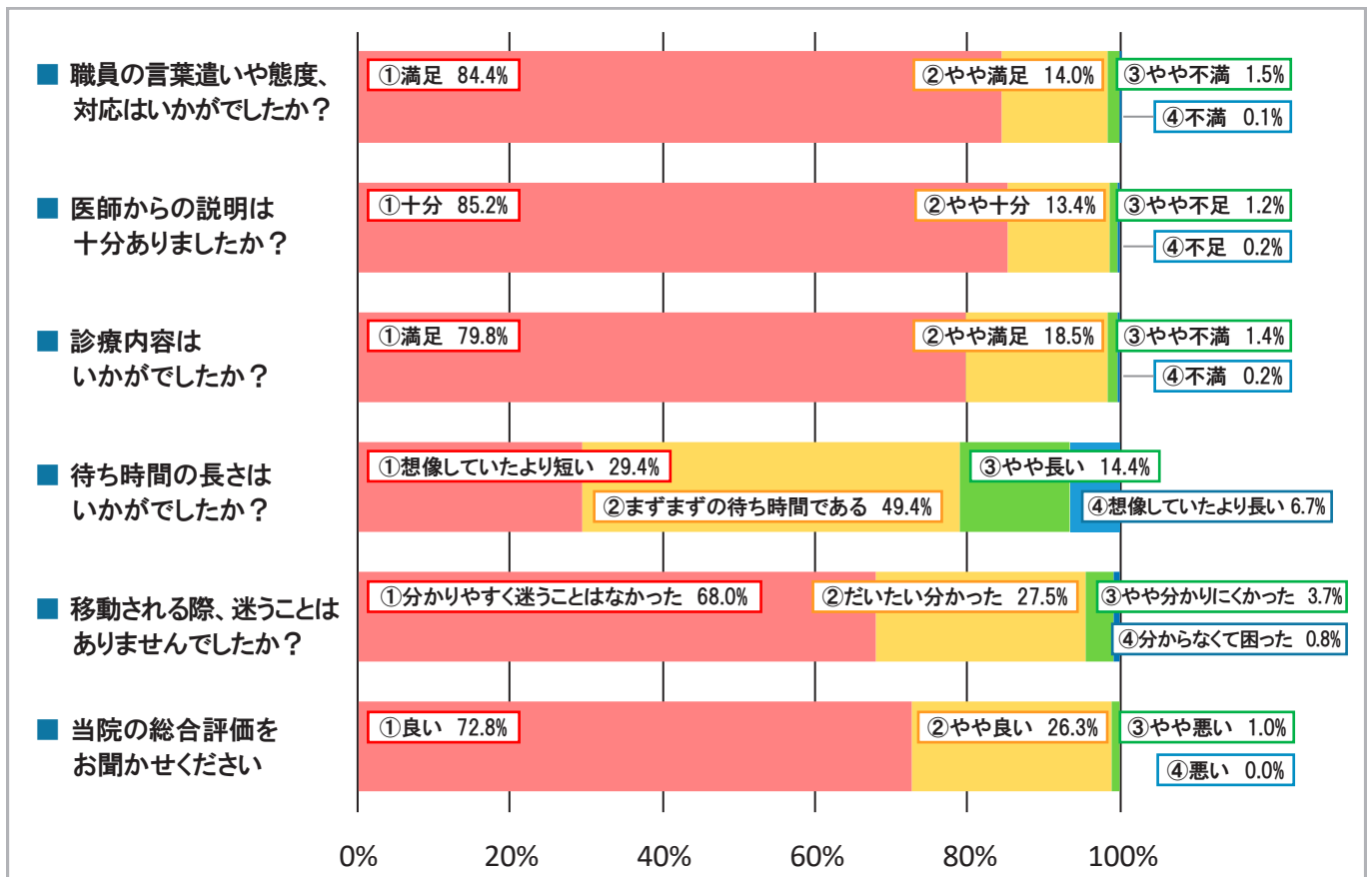
■調査時期：2024年3月

■回答者数：外来患者 950名(回収率95.8%)、健康管理センター 60名(回収率100%)、健康増進クラブONE 107名(回収率97.3%)



サービス向上委員会では患者・利用者の方々の評価、満足度を把握し、より良い医療の提供、医療サービスの充実を図ることを目的として、2005年より2年に1回患者アンケートを行っております。今回は外来患者の皆様と健康管理センター、健康増進クラブONEの利用者の皆様に実施致しました。

職員一同、質の高い医療を目指して、皆様に満足して頂くために日々業務に取り組んでおりますが、今回いただきました皆様のご意見の集計より、年々高い水準の医療や治療環境を求められている現状をひしひしと感じ、身の引き締まる思いです。いただきました多くの貴重なご意見を、各部署で改善できることはすぐに対応を始めました。ご意見の一部を抜粋してご報告致します。今後もご意見やお褒めのお言葉を励みとし、よりご満足いただける病院を目指して、さらに努力して参ります。このアンケートの集計結果をご覧いただき、さらなるご意見、ご提案などもお待ちしております。



その他ご意見より《抜粋》

お褒めの言葉

- 先生の明るくわかりやすい説明で、気持ち良く診察していただいています。看護師さんの対応も丁寧で安心感があります。いつもありがとうございます。
- いつも小児科でお世話になっています。嫌がる子供にも優しく接してくださり、とてもありがたく思っています。これからも、お願いしたいと思っています。
- 海の近くで、心がホッとする病院です。

改善点

- ▲ 皮膚科などでも初診の時、予約ができればうれしいです。
- 皮膚科を始めとしてほとんどの診療科において、お電話などでの予約に対応しております。
- ▲ 科によって診察時間が予約していてもすごく長いので、もう少し短時間の待ち時間をお願いします。
- 各診療科や関連部署で検討しておりますが、診療科によっては長時間化しておりご迷惑をお掛けしております。診察の目安時間の表示、細やかな声掛けなどを行って参りたいと思います。また、「中央問診カウンター」が患者さんの困ったときのよりどころとして、「待ち時間案内」や「併科診察時の順路案内」などお力になれますので、なにかあれば気軽にお声かけいただけましたら対応いたします。

アンケートへのご協力
ありがとうございました。

次号でアンケート結果を
受けての当院の
取り組みをご報告します。

常勤医師

くになが なおき

【診療科】 総合診療科 診療部長 國永 直樹

【資格】 総合診療専門医・指導医，総合内科専門医，日本DMAT隊員

【出身】 徳島県



ご無沙汰しております。2011年から2014年にかけて、週に1日外来診療をしていました。以後、笠岡第一病院と倉敷中央病院の連携の元で、南西部岡山医療圏で初の家庭医療専門医が誕生し、その後も新専門医制度における総合診療専門医が続々誕生しました。後輩の育成に御協力頂き大変ありがとうございました。

そもそも私自身がこの笠岡の地で勤務したかったことと、患者さんに近い距離で仕事をしたかったこともあり、2024年4月からお世話になることになりました。総合診療科の専門性とは「人との関わり」と定義されており、〇〇という疾患よりも、こういった患者さんであるか、の方が大切と考えています。臓器ではなく、人を診て、その家族を診て、地域を診ていける総合診療専門医を多く輩出していきたいと考えています。

多疾患併存、精神疾患、多発外傷、妊婦など、疾患年齢問わず相談にのります。特に女性の鉄欠乏症については初潮が始まる小学校高学年から閉経する年齢の2人に1人は困っている疾患です。貧血になるまで放置されることが多く、大きな社会的損失であると考えています。頭痛、倦怠感、朝起きられない、月経前症候群で困っている方がいれば当科に受診を促してください。アスリートにも多いので、スポーツが好きな男性も同様の症状で悩まれている方がいます。

救急医の経験も活かして、消防との連携や、災害医療も皆さんと一緒に勉強していくことができればと思います。よろしくお願い致します。

常勤医師

よしなが たかひろ

【診療科】 総合診療科 吉永 孝優

【出身】 香川県 【趣味】 サーフィン、サッカー



初めまして、2024年度より笠岡第一病院で総合診療科として勤務させていただいております 総合診療科後期研修医1年 吉永孝優 と申します。総合診療科として地域の皆様への診療を通して幅広く疾患に向き合い、サポートしていければと存じます。

笠岡は初めての地ですが、海辺の病院ということもあり、僕にとってはとても親近感を感じる場所です。ゆったりとした雰囲気の中で日々の診療に励んでおります。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

非常勤医師

診療日割表は巻末12ページをご覧ください

【腎臓内科】 平野 憲 人工透析センター月曜日

【脳神経外科】 丸野 真人 第1・3月曜日

【消化器内科】 葉 祥元 水曜日 午前

【リハビリテーション科】 堅山 佳美 第4水曜日 午後

【リハビリテーション科】 太田 有紀 木曜日 午後

【リウマチ内科】 山田 雅智 金曜日 午前

【腎臓内科】 和田 将史 夙夜クリニック 第2・4金曜日

【神経内科】 池上 憲 土曜日 午前

【心不全外来】 黒田 和宏 第3土曜日 午前

【心不全外来】 福田 能丈 第4土曜日 午前

【皮膚科】 浦上 仁志 第1・3・5土曜日 午前

【皮膚科】 坂田 伽奈子 第2・4土曜日 午前

常勤医師

はぎわら まろう

【診療科】 救急科 **萩原 万瀧**

【出身】 岡山県 【趣味】 写真，バイク，ビール，イラスト，書道

はじめまして、今年度より救急科として勤務させていただいております 萩原 万瀧（はぎわらまろう）と申します。当院では救急科を中心に、内科外来や訪問診療など幅広く診療をさせていただいています。みなさまが住みなれた笠岡の地で安心して自分らしく過ごせるように、救急科としてサポートできればと思っております。

からだの不調はもちろん、疾病にともない生活で困っていることなどもございましたら、お気軽にご相談いただければと存じます。

バイクで写真を撮りに行ったり、おいしいものを食べたりするのが好きなので、笠岡のおすすめの場所などあればぜひ教えてください。

私は岡山市出身ですが、小さいころ親に頼んでカブトガニ博物館によく連れて行ってもらっていたなぁと懐かしく感じつつ日々診療させていただいております。今後ともよろしく願いいたします。



萩原医師 撮影『笠岡第一病院近くの海岸から見える夕日』

新任診療部長ご挨拶

2024年4月1日付で辞令が交付され、医局から 整形外科 門田康孝医師、小児科 湯本悠子医師、総合診療科 國永直樹医師が新たに診療部長に就任いたしました。



【診療科】 整形外科 診療部長 **門田 康孝**

この4月より整形外科の部長に就任致しましたので、ご挨拶させていただきます。

診療では手外科、一般外傷、関節リウマチを自身の得意分野としておりますが、日常診療のなかでは分野を問わず、幅広く運動器疾患を診察させて頂いております。運動器は筋肉、関節、靱帯、神経など体を動かすための臓器を総称したものです。整形外科では膝や腰などの関節の痛みや、骨折や靱帯の損傷などの外傷、また骨粗しょう症などの加齢による変性疾患など、運動器の様々な疾患を診ています。

近年、運動器の重要性は広く認知されるようになってきています。運動器の健康は、寿命や健康寿命にも関係しており、運動器疾患の治療はもちろんのこと、疾患への予防について多くの方に知っていただくことも、整形外科の大事な役割となっています。

地域の運動器を支える役割を、引き続き、頑張っていきたいと思っております。



【診療科】 小児科 診療部長 **湯本 悠子**

この4月より小児科の部長に就任致しました湯本悠子です。

新生児分野から乳幼児期の発達に関して前職で従事してきましたが、当院では一般診療、発達に関するフォローや相談、アレルギー疾患など幅広く診察をさせていただいております。10年前から故郷の笠岡の小児医療に関わるようになり、地域の小児科として子どもたちにできることをスタッフとともに日々探求しながら、自身も成長させていただきながら働いております。

疾患はもとより、未来を担う子どもたちの心と体の健やかな成長に寄り添えるよう、引き続き、頑張ります。



辞令交付式・新入職員紹介 2024年4月1日(月)

4月1日に辞令交付式を執り行い、医師3名、看護師4名など23名の新入職員を迎えました。医療法人社団清和会全体で総勢454名となりました。



【新入職員代表挨拶】 (一部抜粋) 社会福祉士 難波 志帆

私共は、晴れて当法人に入職できたことを心から光栄に思っております。
まだ右も左も分からない未熟な新社会人ですが、何事にも真剣に取り組み、全身全霊でクライアントと地域福祉の発展のために全力を尽くします。
ご迷惑をかけることもあるかと思いますが、一日でも早く法人に貢献できるよう精進いたしますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

医 師	國永 直樹 吉永 孝優 萩原 万瀧
看 護 師	森石 結衣 西崎 美羽 藤本 千乃 福武 一樹
臨床工学技士	信岡 亮太
臨床検査技師	星島 なつめ
理学療法士	野尻 真志
作業療法士	杉井 優斗 菅本 晴仁 矢野 龍雅 桑田 殊実
視能訓練士	山本 綾香
管理栄養士	白崎 莉子 川波 千紘
社会福祉士	柿木 望緒 難波 志帆
診療アシスタント	平井 咲 細川 歩美 (病児保育士) 坂本 彩香
介護福祉士	福井 幸江

業務推進発表大会 2024年2月17日(土)

法人事務局 赤迫 圭太

2024年2月17日(土)午後2時より、第16回目となる2023年度業務推進発表大会を開催しました。

2006年より開催されているこの発表大会は、医療法人社団清和会の現在や今後のあり方などが当地域の事情や環境を踏まえながら示される場であると同時に、各部署や各委員会などの取り組みを職員が知ることのできる貴重な場でもあります。

今回は10月に日本医療機能評価機構による更新受審が実施されたため、恒例の7月実施から大きく遅れての開催となりましたが、昨年度と同様に会場となる5階多目的ホールの他に、リモートでつないだ2つの会場を設けるなど厳重な感染防止策を講じ、昨年度開催を超える職員286名が参加しました。内容の濃い聞き応えのある発表ばかりで、参加職員は真剣に傾聴し、充実した発表大会となりました。



業務推進発表大会プログラム

- コロナ禍の運営状況とこれからの病院 理事長 宮島 厚介
- 地域医療の明日に向けて 院長 橋詰 博行
- 岡山JMATに参加して 医局 藤井 研介・田邊 綾 / 看護部 小見山 ひと実・秋田 三永子
薬剤管理科 大島 渉 / 人工透析センター 玉井 淑教
- MRIの安全管理について / 当院における被ばく線量管理・STAT画像報告の現状 放射線科 田中 睦樹・赤澤 龍右
- いこい苑での看取りの取り組み 瀬戸いこい苑 天野 美緒・黒田 紗野香
- 下肢浮腫の圧迫療法とドレナージ治療を開始して 医局 河村 進 / 看護部 矢吹 沙織 / リハビリテーション科 松田 桂
- インフォームド・コンセントの実践 副院長 古川 洋二
- 廃用・誤嚥性肺炎予防に対してリハ科からの提案 リハビリテーション科 近江 紋
- 働きやすい職場を目指して 副理事長 宮島 裕子 / 看護部 中尾 留美 / 法人事務局 赤迫 圭太・友國 雅也
- 若葉会総会 若葉会事務局 石部 豪

永年勤続表彰 2024年5月17日(金)

永年勤続表彰を病院の日・看護の日に合わせて毎年行っています。今年は20年表彰6名、10年表彰8名、5年表彰22名の計36名が表彰を受けました。



【表彰受賞者代表挨拶】 (一部抜粋) 介護福祉士 椎木 謙介

職場環境に恵まれ、失敗したり挫けたりした時には支えていただき、時に道を間違えそうになったときは指導をいただきました。上司やスタッフの皆さんの指導や助言、そして協力がなければ、私たちはここまでの道のりを歩むことは出来ませんでした。皆と共に働けたことを誇りに思います。家族の支えがあつての20年間であったと思います。娘・息子の笑顔を見る度に明日も頑張ろうという気力にも繋がっています。まだまだ子育てに追われる日が続きますが、公私ともに充実しているからこそ今に繋がっていると思います。

高齢化が加速する日本において、介護福祉士に寄せられる期待はますます高まっています。いこい苑には医師、看護師、リハビリ職、栄養管理科、ソーシャルワーカー、ケアマネなどの多職種が働いています。皆と協働し、よりよいケアが提供できるように努めていきたいと思っています。

20年勤続

椎木 謙介	介護福祉士
赤木 明美	事務
泉 明子	看護師
吉田 君子	看護師
藤井 えりか	看護師
東山 裕美	診療アシスタント

10年勤続

浅井 久美	准看護師
櫻原 亜希子	臨床検査技師
近江 紋	言語聴覚士
西塚 美代子	看護師
久安 愛	保健師
三國 三寿恵	看護師
小笠原 美恵	看護師
田中 光	病棟アシスタント

ICLSコース開催 2024年3月3日(日)

外来看護師 小見山 ひと実

3月3日(日)岡山大学病院救急科 野島 剛先生をコーディネーターに迎えICLS(二次救命処置)コースが開催されました。参加したのは、岡山大学病院・西大寺病院・笠岡第一病院からの18名の受講生と、同じくこれらの機関と日本原病院医師19名のインストラクターです。ICLSは「突然の心肺停止に対して、最初の10分間で適切な医療を提供する」ことを目標に設定された専門コースです。

多くの受講生は初め緊張から表情が硬く、声を出すことにも躊躇していました。しかし講習が進むにつれて、積極的に質問をし、急変時の対応を通じてチームワークの重要性を学んでいきました。講習終了時には、達成感と自信に満ち溢れた笑顔でいっぱいでした。

インストラクターとして参加した私たちも、受講者からの自己評価や感想を聞き、それに基づいて指導することで、共に学び合う体験を得ることができました。

今年は災害対応訓練にも力を入れる予定です。スタッフの安否確認、患者の状況把握、トリアージエリアの設営など、実際の災害に備えた訓練を積極的に行っていきます。これにより、万が一の事態に備えて、様々なシナリオでの対応を想定し、顔が見える関係の中でチームとしての力を発揮できるように努めていきます。





病院機能評価 受審更新

機能評価事務局 小林 昌史

2023年10月17日・18日の二日間にわたり、病院機能評価を受審しました。病院機能評価とは、医療機関が提供する医療サービスの質を第三者の視点から評価するものです。当院は2003年より5年毎の更新審査を受けており、この度で5回目となる「認定」となりました。

今回は2023年4月に改定されたばかりの最新バージョンである[3rdG:Ver.3.0]を全国的にも早期に受審しました。これは、従来にはなかった審査方法「カルテレビュー」を始め、最新の知見に基づく全89項目からなる審査であり、専門的な知見を持つ第三者からの評価を受けることで、良い点から改善が必要な点まで幅広くフィードバックをいただくことができました。

病院機能評価の受審の目的は、客観的な視点から当院の課題を明らかにし、

医療サービスの質の向上を継続することにあります。当院が自らの医療サービスを振り返る機会として「井の中の蛙、大海を知らず」とならないよう、院内の各部門でそれぞれの課題を認識し協議を進めています。

今回の認定はゴールではなく新たな改善のスタートとなります。地域の医療を支える医療機関として、今後もさらなる成長を続けて参ります。



機能評価受審当日の様子

管理栄養士の健康レシピ

【材料】1人分

- ごはん 120g
- 温泉卵 1個
- 豆腐 小パック1個(90g)
- 揚げ玉 小さじ2杯
- かつお節 小袋1/2パック
- 大葉 3枚
- 青ネギ 小さじ2杯
- ポン酢 小さじ2杯

栄養量(1食分)	
エネルギー	336kcal
炭水化物	47.2g
タンパク質	15.5g
脂質	8.9g
食塩	1.2g

材料には、栄養計算をした目安の分量を示しています。いずれもお好みの分量でOKです。

ゴマ・きざみのり・シヨウガなどのトッピングもオススメです！

タンパク質もしっかり摂れる！

さっぱり 簡単冷やっこ丼

【作り方】

- ① 温かいご飯を茶碗に盛り、揚げ玉とかつお節をのせる。
- ② 鍋豆腐を食べやすい大きさに切ったのせ、刻んだ大葉と青ネギを散らし、真ん中に温泉卵を割りおとす。
- ③ ポン酢をかけて完成。

※寒い季節は、豆腐をパックごと湯煎で温めて、温やっこ丼にもできます。



栄養管理科
管理栄養士 加瀬 有華

豆知識①

ポン酢の塩分量について

塩分が気になる方は、ポン酢の使用量に気をつけましょう。



小さじ1 (5ml)	小さじ2 (10ml)	小さじ3(15ml) = 大さじ1
0.5g	1.0g	1.5g

豆知識②

カンタン温泉卵の作り方

温泉卵は、おうちでも生卵から簡単に作ることができます。

保温性の高い容器に生卵を入れて沸騰した湯を注ぎ、蓋をしてそのまま15分程度置くと半熟になります。



食欲のない時にもさっぱり食べやすく、たんぱく質をしっかり摂れるメニューです。簡単な材料ででき、1人分でも作りやすいです。副菜に和え物やサラダを組み合わせると、食物繊維やビタミン・ミネラル類もしっかり摂ることができます。

健やかライフ メンバーズ健康教室 開催予定



6月・7月の健やかライフメンバーズ健康教室の開催予定をお知らせします。

6月26日(水) 13:30～

運動・身体活動のポイント

健康増進センター ONE
健康運動指導士 石部 豪

身体活動量を増やすことで、さまざまな健康上の効果がもたらされることが知られています。運動・身体活動を安全に行うためのポイントを、最新のガイドラインを踏まえて、お話しさせていただきます。運動の実践も交えながら進行します。動きやすい服装でご参加ください。



7月20日(土) 13:30～

ストレスとの上手な付き合い方 ～ “しなやかに生きる” ためのコツ～

リハビリテーション科 公認心理師 福永 実加

充実した人生を送るには、体の健康だけでなく心の健康も欠かせません。心の健康を保つ大切な要素の1つである『ストレスとの上手な付き合い方』を中心にお話しします。ストレスの多い現代社会を乗り越える学びを、共に深めていきましょう。



【会場】 笠岡第一病院 5階 多目的ホール 参加無料・予約不要です。ぜひご参加ください！

マイナンバーカードご利用のお願い

医事課 今本 奈美江



当院では、2023年4月よりオンライン資格確認システムを導入しております。

マイナンバーカードの普及が足踏み状態ではありますが、多くの患者さんにご利用いただきました。専用のカードリーダーで認証いただくことにより、特定健診情報・他院の診療/薬剤情報の取得ができ、有効活用することにより、質の高い医療を提供することにつながっています。また、保険証（公費を除く）の情報を得ることもできます。

患者さんからは、「今まで保険証の確認に混雑した受付に並んでいたけれど、並ばなくてよかった。」「急なケガで保険証を持っていなかったけど、マイナンバーカードがあって助かった。」「入院時、限度額認定証（※）の手続きに役所に行く手間が省けてよかった。」など、嬉しい声をいただいています。

2024年12月には、保険証の現物が廃止になると言われています。窓口でのご利用時に、カードリーダーの使い方など不安に思われる方がいらっしゃると思いますが、事務職員によるサポートも行っておりますので、お気軽にお声かけください。

※ 限度額認定証 … 支払いが高額になる場合、自己負担額を所得に応じた限度額にするための証書



編集後記

今年の春もスペイン広場から桜を眺め、季節の移り変わりを感じることができました。

季節は毎年同じように巡ってきてくれていますが、昨今の時代の流れはとても早く、日々新しい情報であふれています。

スピード感のある毎日ですが、今、目の前にあるものすばらしさも大切にしたいと思っています。

（サービス向上委員会）

日本医療機能評価機構認定病院 臨床研修病院指定施設

日本整形外科学会専門医研修施設
日本手外科学会専門医研修施設
日本リハビリテーション医学会研修施設
日本リウマチ学会教育施設
日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本臨床薬理学会専門医研修施設
日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設

当院の状況 (2024年5月)

平均在院日数

一般病棟

10.4日

地域包括ケア病棟

19.2日

病床利用率

70.7%

1日あたり

外来患者数

537名